

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
http://nichiren-monka.org/

平成31年2月16日
第59号

「日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業」活動報告3 嵐圭史氏による日蓮聖人御遺文の朗読劇全国行脚 一人語り「日蓮さまのお心に聴こう」

現在、一人語り「日蓮さまのお心に聴こう」と題し、嵐圭史氏による日蓮聖人御遺文の朗読劇全国行脚が各地で展開されている。これは、日蓮聖人門下連合会における「日蓮聖人御降誕八〇〇年」の記念事業の一つであり、平成二十九年十一月二十八日のお披露目公演を皮切りに、これまでに総勢約二千五百人もの僧俗へ日蓮聖人のみ心を伝えてきたことになる。ご存じの方もあろうが、嵐氏と日蓮聖人門下連合会とのご縁は、「日蓮聖人七〇〇遠忌」の記念事業として企画・運営された「日蓮聖人劇」に端を発するものである。日蓮聖人を演じた嵐氏の名演技は、前進座の看板俳優としての名をより一層轟かせたこととなり、四十年経つた今もなお語り継がれている。喜寿を迎えた一昨年四月を転機として前進座を離れ、嵐氏は、朗読の名手として知られていること、嵐家は代々に亘り日蓮聖人門下連合会所属の宗派に帰依しているという点も、ご自分の役者人生の集大成としたい、日蓮聖人の魂に成り代わってその廣大無辺なみ心を一人でも多くの方々へお届けしたいという本人たっのご意向もあって、日蓮聖人御遺文の朗読全国行脚にご快諾頂くこととなったのである。嵐氏の一人語りの構成内容は、大きく六つのパートから成り立っている。

一、プロローグ・立教開宗
日蓮聖人三十二歳の時に清澄山旭が森にて高らかに御題目を初唱した場面が再現されている。日蓮聖人に成り代わったかのような迫力ある嵐氏の御題目に誰もが心を奪われる一シーンである。

二、旃陀羅が子
日蓮聖人の御遺文の中に数多く見られる「旃陀羅が子」との記述。その記述の一つひとつをピックアップして、その御遺文が記された当時の背景を説明しながら、「旃陀羅が子」という自覚の元、民衆と同じ目線を持ちつつ日蓮聖人のみ心を分かりやすく語っている。また、御年十二歳にて仏道を志す為清澄山に登った善日麿と母梅菊との別れや浄土をどこに求めるかという四条金吾との問答の場面等、拝聴者を魅了する場面が盛り沢山となっている。なお、余談となるが、先日福岡県

本願寺で開催の「お題目の集い」で公演された一人語りを拝聴する機会を頂いた筆者であったが、母梅菊と善日麿との別れのシーンには、拝聴者の方々とともに、ただただ涙ひまなしであった。

三、立正安国論

言うまでもなく日蓮聖人を語るのに欠かせないのが『立正安国論』である。そもそも、「嵐氏の一人語り」は立正大学名誉教授渡邊寶陽先生に監修を頂いており、嵐氏ご自身もその内容を熟知されており、この一人語りでは、「その文体と声に聴く響きの素晴らしさ」を味わうことの出来る内容となっている。幾度となく読み込まれて熟練された嵐氏の発する『立正安国論』は、聴く者の耳に情熱的に語りかけてくることだろう。

六、ご入滅

療養の為常陸の湯へ向かう途中に立ち寄り、池上での御入滅シーン。六老僧の任命や経一磨への帝都弘通の委嘱の場面が再現され、最後は波木井殿御書の有名な一説で締めくくられるのである。

このように嵐氏の一人語りは、六つのパートから成っており、各パートのどれを取っても、拝聴者の心に響くものとなっている。「普段から知っている日蓮聖人の一言葉を、嵐氏がより分かりやすく体現してくれた」「歴史上での日蓮という名前しか知らなかったが、情深いお人柄に涙しました。今にしてこのようなお方がいらしたら……」とは、檀信徒はじめ一般参加者の率直な声である。

四、御遺文

一般未信徒が聴いても十分に理解の出来る、特に日蓮聖人の温かく優しいにふれた御遺文を紹介している。また、日蓮聖人の書かれた古文の力強さや品格も存分に生かされており、嵐氏の魂がこもった御遺文を聴けば忽ちに情愛あふれる日蓮聖人の姿が目に見え、ことであろう。

五、身延山

晩年の九箇年間を過ごされた身延山にて書かれた御遺文の紹介。日蓮聖人の砕けた一面を垣間見るこの出来る『忘持経事』や寒さ厳しく食糧事情もままならない生活をリアルに伝える『上野殿御返事』等を懇切丁寧に説明。また、大自然に囲まれた身延山を見事に描写された御遺文の一説も紹介。



つじゆじゆ地從

◆平成三十一年四月三十日、二百年ぶりに天皇陛下が退位され「平成」の元号が替わることになります。

◆「平成」とは、「内平外成・地平天成」に基づくと言われています。「内平らかに外成る」。国の内外がよく治まり、平和が達成されること。「地平らかに天成る」。万物が栄え世の中が平穏に統治されていること。また

は天災等に見舞われることなく自然が穏やかなこと。振り返ると、日蓮聖人在世のころ同様、天災や流行病などの災害が続き、争いや外からの侵略を受け、国が滅びる懸念を懐くような時代であります。元号の起源からは凡そかけ離れた三十年間だったように思われます。

◆いつの世も良き日々を送れることを願い、新たな元号を定めていたに違いありません。

◆お経中に「諦」という文字をよく目にいたします。「諦める」。願が叶わず思いを断ち切るの意としてよく使われています。「諦観」「諦聴」(つまびらかにみる、聞く)にみられるように「つまびらかにする」「明らかにする」が本来の意味であり、真理・道理を意味します。願いを込めて考えたものが叶わずとも、諦めず諸般の事情を踏まえ現状認識し原因の究明をはかり前向きにとらえていく。

◆まさに日蓮聖人の思い「正法(法華経)を立てて国を安んずる」このお言葉を実践することが、これから求められるものと思われまます。元号がいかなる言葉になろうとも、私たち全ての人々が法華経に帰依し、一日一日を大切に善き明日を求め、心ひとつに安穏な国づくりをしていきたいと思ひます。(水)



現在、一人語り「日蓮さまのお心に聴こう」と題し、嵐圭史氏による日蓮聖人御遺文の朗読劇全国行脚が各地で展開されている。これは、日蓮聖人門下連合会における「日蓮聖人御降誕八〇〇年」の記念事業の一つであり、平成二十九年十一月二十八日のお披露目公演を皮切りに、これまでに総勢約二千五百人もの僧俗へ日蓮聖人のみ心を伝えてきたことになる。ご存じの方もあろうが、嵐氏と日蓮聖人門下連合会とのご縁は、「日蓮聖人七〇〇遠忌」の記念事業として企画・運営された「日蓮聖人劇」に端を発するものである。日蓮聖人を演じた嵐氏の名演技は、前進座の看板俳優としての名をより一層轟かせたこととなり、四十年経つた今もなお語り継がれている。喜寿を迎えた一昨年四月を転機として前進座を離れ、嵐氏は、朗読の名手として知られていること、嵐家は代々に亘り日蓮聖人門下連合会所属の宗派に帰依しているという点も、ご自分の役者人生の集大成としたい、日蓮聖人の魂に成り代わってその廣大無辺なみ心を一人でも多くの方々へお届けしたいという本人たっのご意向もあって、日蓮聖人御遺文の朗読全国行脚にご快諾頂くこととなったのである。嵐氏の一人語りの構成内容は、大きく六つのパートから成り立っている。

一、プロローグ・立教開宗
日蓮聖人三十二歳の時に清澄山旭が森にて高らかに御題目を初唱した場面が再現されている。日蓮聖人に成り代わったかのような迫力ある嵐氏の御題目に誰もが心を奪われる一シーンである。

二、旃陀羅が子

日蓮聖人の御遺文の中に数多く見られる「旃陀羅が子」との記述。その記述の一つひとつをピックアップして、その御遺文が記された当時の背景を説明しながら、「旃陀羅が子」という自覚の元、民衆と同じ目線を持ちつつ日蓮聖人のみ心を分かりやすく語っている。また、御年十二歳にて仏道を志す為清澄山に登った善日麿と母梅菊との別れや浄土をどこに求めるかという四条金吾との問答の場面等、拝聴者を魅了する場面が盛り沢山となっている。なお、余談となるが、先日福岡県

本願寺で開催の「お題目の集い」で公演された一人語りを拝聴する機会を頂いた筆者であったが、母梅菊と善日麿との別れのシーンには、拝聴者の方々とともに、ただただ涙ひまなしであった。

三、立正安国論

言うまでもなく日蓮聖人を語るのに欠かせないのが『立正安国論』である。そもそも、「嵐氏の一人語り」は立正大学名誉教授渡邊寶陽先生に監修を頂いており、嵐氏ご自身もその内容を熟知されており、この一人語りでは、「その文体と声に聴く響きの素晴らしさ」を味わうことの出来る内容となっている。幾度となく読み込まれて熟練された嵐氏の発する『立正安国論』は、聴く者の耳に情熱的に語りかけてくることだろう。

六、ご入滅

療養の為常陸の湯へ向かう途中に立ち寄り、池上での御入滅シーン。六老僧の任命や経一磨への帝都弘通の委嘱の場面が再現され、最後は波木井殿御書の有名な一説で締めくくられるのである。

このように嵐氏の一人語りは、六つのパートから成っており、各パートのどれを取っても、拝聴者の心に響くものとなっている。「普段から知っている日蓮聖人の一言葉を、嵐氏がより分かりやすく体現してくれた」「歴史上での日蓮という名前しか知らなかったが、情深いお人柄に涙しました。今にしてこのようなお方がいらしたら……」とは、檀信徒はじめ一般参加者の率直な声である。

四、御遺文

一般未信徒が聴いても十分に理解の出来る、特に日蓮聖人の温かく優しいにふれた御遺文を紹介している。また、日蓮聖人の書かれた古文の力強さや品格も存分に生かされており、嵐氏の魂がこもった御遺文を聴けば忽ちに情愛あふれる日蓮聖人の姿が目に見え、ことであろう。

五、身延山

晩年の九箇年間を過ごされた身延山にて書かれた御遺文の紹介。日蓮聖人の砕けた一面を垣間見るこの出来る『忘持経事』や寒さ厳しく食糧事情もままならない生活をリアルに伝える『上野殿御返事』等を懇切丁寧に説明。また、大自然に囲まれた身延山を見事に描写された御遺文の一説も紹介。

法華経漢訳の聖地「草堂寺」を
日蓮門下の「祖庭」として
顕彰しましょう



持田日勇

日蓮宗総本山身延山久遠寺 総務
日蓮宗本山藻原寺 貫首
日蓮聖人門下連合会 相談役

日蓮聖人門下連合会が草堂寺の参拝を共同事業として確定し、二〇一九年六月十一日に門下十宗派の代表者が草堂寺に集い、法味を言上して鳩摩羅什三蔵法師の法華経漢訳の功績を讃え、恩徳を顕彰されることは法華経信奉者の一人として大変ありがたいことであると思いま

として認識されております。草堂寺は長安の南、終南山の北麓にあり、長安大寺と通称された、訳経場の一つであり、そこに舍利塔が建立され、師の骨灰が奉安された、まさに法華経の聖地であります。

日蓮宗では、文化大革命により伽藍の殆どを失ってしまった草堂寺の存在を、一九八〇年に派遣した第一次訪中団が探索、確認して、鳩摩羅什三蔵法師の顕彰を志し、有志が相集い、鳩摩羅什三蔵法師遺跡顕彰会を組織して、草堂寺の復興を支援して参りました。

一九八二年に鳩摩羅什三蔵法師の尊像を刻彫し、一九九二年四月十三日には鳩摩羅什三蔵法師記念堂を建築して尊像を奉安しました。

それ以後、蔵経樓の建立を目指して資金造成に当たり、法華経二十八品の経石碑を造立し、二十年余の歳月を経て蔵経樓を建立しました。そして、二〇一五年九月十日に落慶法要を奉行了しました。

草堂寺が日蓮宗の祖庭であるだけでなく、日蓮聖人門下各派の祖庭として多くの参拝者が訪れ、中国における草堂寺の評価が高まり、法華経講讀の気運が高まっています。



中国草堂寺 蔵経樓

「日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業」活動報告4
中国西安草堂寺結集 開催決定

開催に向けた決定事項

平成三十三年二月十六日に迎えする「日蓮聖人御降誕八〇〇年」記念慶讃事業の一つである「草堂寺結集」について、昨年六月実施の団参下見報告を前号で紹介した。

その後、団参開催に向けて実行委員会を中心に準備を進め、本年一月二十五日開催の常任理事会で団参・法要の正式名称や募集方法等の最終決定がなされた。主な決定事項は左記の通りである。なお、団参日程は下表をご参照頂き、詳細は募集パンフレットにてご確認ください。

鳩摩羅什について

鳩摩羅什は、インド人の父と亀茲国王の妹を母として七歳で出家。九歳のとき罽賓で槃頭達多に小乗を学び、莎車で須利耶蘇摩から大乘を学んで仏教経典に通じ、その名声は広く漢土に及んだ。その後、涼州にて十七年間幽閉され、その間に漢語に精通。四〇一年、後秦の王である姚興は鳩摩羅什を国師として迎え、西明閣と逍遙園を開放し、ここで王命により衆経を訳出した。

草堂寺について

中国陝西省の省都である西安は、かつて長安と呼ばれた中国の古都。その西安市内から五〇キロほど離れた戸県秦鎮草堂宮村に草堂寺はある。鳩摩羅什が仏教経典を漢訳した場所であり、訳経場が粗末な草葺きの建物であったことから「草堂寺」と名付けられたという。



中国草堂寺 鳩摩羅什舍利塔

また、王は鳩摩羅什のために長安大寺を造建し、数々の仏典講説もなされた。鳩摩羅什を慕い、長安に

以上が主な決定事項であるが、法要に関する役割や衣帯等については、募集締切後に別途参加者へご連絡する予定である。

平成二十七年十月二十七日開催の京都理事会で本企画が提案されて以来、約三年の準備期間を経て、今回の開催を迎えるに至った。鳩摩羅什三蔵が『妙法蓮華経』を漢訳し、現在師の墓碑がある草堂寺。日蓮聖人への報恩事業として、宗祖が羅什「妙法蓮華経」からお導きになった法華経の精神と御題目を携え、一人でも多くの方々と共に鳩摩羅什三蔵ならびに日蓮聖人に報恩の誠を捧げる法要を奉行できることを主催者一同、心より願っている。

史書によると、ある日病氣にかかった鳩摩羅什は「私は凡夫の身で多くの経論を翻訳することに当たったが、若し私の翻訳に謬りがあったとすれば、身を焼いた後にも舌は焼けないであろう」と言ったという。

遷化後、逍遙園で茶毘に付されたところ、ただ舌のみ灰にならなかったと伝えられ、舌不燃のことは日蓮聖人も御遺文で触れている。

呼ばれ、鳩摩羅什が約三千人の弟子の僧侶とともに、七四部三三四卷（諸説あり）の仏典を翻訳した場所。現在、広い境内には鳩摩羅什の墓所、大雄宝殿、鳩摩羅什三蔵記念堂、蔵経樓などが建ち並んでいる。

担当者・笠原・島崎・小林（株）JTB虎ノ門第五事業部
なお、法要当日のみの個人参加や別途団参での参加も可。（法要・懇親会参加を含む。別途、現地参加費あり）

【関西発 5日間】

Table with 5 columns: 日次, 月日(曜), 地 名, 現地時間, 交通機関, 行 程, 食 事. It details a 5-day itinerary starting from Osaka and ending in Shanghai.

Table with 5 columns: 日次, 月日(曜), 地 名, 現地時間, 交通機関, 行 程, 食 事. It details a 5-day itinerary starting from Tokyo and ending in Shanghai.

※日程は、航空機発着時間の改訂や現地状況により変更する場合があります。

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 木村吉孝
 宗務総長 中川法政 宗務総長室長 木内隆志
 伝道局長 塩田義徹 現代宗教研究所長 三原正資
 総務局長 松永慈弘 日蓮新聞社長 渡邊義生
 伝道部長 松井大英 与 山口裕光
 教務部長 北山孝治 参 与 吉田顕綱
 総務部長 田中恵紳

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二一-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 佐藤日賢
 宗務総長 二瓶海照
 総務部長 三吉廣明
 教学部長 清水常光
 布教部長 吉崎長生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 平田義生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 山本日恵
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 吉永義康
 教務部長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 庶務部長 湯原正純
 社会部長 齊藤成貴
 布教部長 朝倉俊泰

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 教学部長 布施義高
 財務部長 金原孝宜
 教化部長 松吉慶憲
 企画部長 今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 小西日演
 宗務副総長 西村日要
 宗務副総長(シタ)特別局長 谷信一
 教育局長 高須日因
 弘通局長 吉田日景
 総務局長 小野山日将
 広報局長 柏日胤
 財務局長 小林利之
 奉賛局長 松本日就

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 田中英潤

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀智泰
 総務部長 堀内浩善
 教学部長 峰尾泉栄
 教化部長 木田慧明
 社会部長 坂本法保
 財務部長 寺田良正
 参 与 木村完祥

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田隆雄
 総務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 原田義彦
 門連理事 森山真治
 門連常任理事 藤本坦孝
 門連理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一-一八
 電話 〇三(三五六)七二二(代)
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
 責任役員 酒迎天信
 同 今井行康
 同 池田行朗
 同 二宮和嘉
 同 木津博充
 同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 伊丹日章
 副 会 長 上田日猷
 理 事 長 橋本一妙
 副 理 事 長 永岡悠希

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入大菊町九六
 頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内
 電話 〇七五(七六二)二四一一
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

大阪日蓮聖人門下懇話会

理 事 長 佐野貫順 問 藤村恵容
 副 理 事 長 末澤禎隆 問 門谷光瑞
 顧 問 奥邨正寛 問 中村日游
 顧 問 木下恵温 問 東孝信
 顧 問 佐藤哲夫

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町八一-一四一
 電話 〇六(六七六)一九〇九
 FAX 〇六(六七六)一九〇九

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 金子元彦
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五)一三三三一
FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 本能寺

貫首 桃井日英
執事長 佐藤泰慎
役員一同

〒604-8901 京都府京都市中京区寺町通御池下る
電話 〇七五(二三)五三三五
FAX 〇七五(二二)二八三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 山本日恵
執事長 吉永義康
執事 中村英司
執事 湯原正純
執事 土持悠孝
執事 鹿野恒仁
執事 足立幸謙
執事 藤本慧昌

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九)七二七一
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

奉安門下最古一尊四土御本尊
初祖日朗尊聖人七百御遠忌厳修
(平成三十一年)

貫首 門谷日悠
執事長 平井良光

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 本多信正
執事補 笹木研吾
書記 矢放啓亮

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四)五七六二
FAX 〇七五(四四)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 佐野充照
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五)三三二七
FAX 〇七五(四五)三三九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七)三三九〇
FAX 〇七五(七七)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 高須日良
二十六世講有
執事長 白石日是
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区二条通七松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六)四六五一

京都八本山会

大本山 本閉寺 貫首 伊藤日慈
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本満寺 貫首 伊丹日章
会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
本山 妙傳寺 貫首 野々垣日祐
本山 頂妙寺 貫首 安藤日瑛
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴

京都 法華門流懇話会

顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 山本日恵
法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
法華宗(本門流) 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 丹治日遠
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 高須日良
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 福井日進
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 福井日進
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

別当 二宮日敬
執事長 宮崎雅宣
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二二一
電話 〇四(七〇)九四〇五二二五
FAX 〇四(七〇)九四〇五二二七
団参には是非、研修会館をご利用ください。
一六〇名様まで可。

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇)九五二六二二一
FAX 〇四(七〇)九五二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重
参 川名義顕
参 与 吉田日綱
参 与 井野正文
執事長 鈴木春雄

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参 与 田代浩敬
参 与 植田観樹
参 与 松本慈恵
参 与 関観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
電話 〇四七(三三)四三三三三
FAX 〇四七(三三)四一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三)三三三三
FAX 〇三(三三)三三三三

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

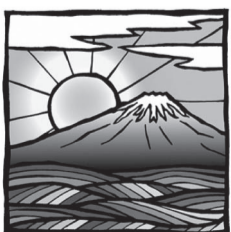
〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
電話 〇四七五(二二)三二五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安
貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八)二二四三三七三
FAX 〇三(三八)二二七〇三三

平成三十三年二月十六日は
宗祖御降誕八百年を
迎えます



門連時報

京都理事会開催さる

昨年十月十八日(木)、法華宗(本門流)大本山本能寺において、日蓮聖人門下連合会・京都理事会が開催され、全門連及び京都門下連役員各聖、大阪門下懇話会理事長の五十六名が参列した。

午後一時、会場寺院である本能寺の桃井日英貫首を導師に仰ぎ、京門連理事長 佐藤泰慎師を含む本能寺関係者各聖を式衆に、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。その後、本能寺会館へ移動し、午後二時、桃井日英貫首より本能寺の沿革についてご講義いただいた。



京都理事会
平成三十年十月十八日

が座長となり理事会を開会し、事務局より上半期の事業報告がなされ、続いて京都門連大阪門下懇話会よりそれぞれ活動が報告された。

次に、平成三十三年二月十六日にお迎えする日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業について、事務局より「嵐圭史氏 全国朗読行脚」「中国草堂寺結集」を中心とした詳細な進捗状況が報告された。特に「中国草堂寺結集」については幹事旅行会社であるJTBの担当者からも詳細な説明がなされ、事業推進に向けた活発な意見交換がなされた。

また、御降誕八〇〇年を迎えるにあたり、日蓮宗大本山誕生寺 石川泰道貫首が来場し、誕生寺への参詣推進の挨拶がなされた。

理事会終了後、京都ホテルオークラへ移動し、午後四時五十分より懇親会を開催。和やかな雰囲気の中、出席者同士が親睦を深め、有意義なひと時を過ごした。

なお、今年の京都理事会は日蓮宗大本山本能寺を会場として開催される予定である。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

お会式法要
昨年十月六日、法華宗(本



門流)大本山本能寺に於いて宗祖御入滅七三七年お会式法要が執り行われた。法要に先立ち午後一時より佐藤泰慎理事長を先頭に、京門連役員、門下青年会、檀信徒総勢二十名が出仕し市中唱題行脚を実施した。本山頂妙寺(日蓮宗)まで参拝し、本能寺帰山道中の最終盤に強い雨に降られたが一同最後まで力強く唱題行脚を完遂した。午後二時三十分より各本山格護の万灯が飾られた大本堂で本山妙覚寺(日蓮宗)貫首宮崎日嚴院下の法話があり大勢の聴聞者が聞き入った。法話終了後、桃井日英院下大導師、対揚導師に佐藤泰慎理事長、脇導師に橋本一妙副理事長、式衆に山内寺院が出仕し、門下本山会各貫首院下、門連役員各聖御列席のもと宗祖報恩お会式法要を

開式した。荘厳な大本堂に響き渡る大太鼓とお題目で宗祖への報恩を改めて誓い、お会式法要を終えた。

門下本山会主伴会開催

昨年十二月二十二日に一年を締め括る恒例の主伴会が京都祇園の料亭旅館畑中で開催された。主伴会とは門下本山会加盟十六本山の貫首院下が総務、執事を伴い各山の動向、

事業報告、意見交換等を行い、各山の相互親睦を深める重要な会議である。昨年は全国的に地震、台風、水害の自然災害が多発し、京都市内も九月の台風二十一号により多大な被害があり、各本山からもそれぞれ甚大な被害状況や復興事業の報告があった。昨年度当番の法華宗(本門流)大本山本能寺はホテル本能寺新築工事中であったが、今年十月十二日に完成するという喜ばしい報告もあり、平成最後の主伴会を閉会した。

本山法灯継承晋山式

昨年十月十一日、日蓮宗大本山妙顕寺、本山妙覚寺の両山の法灯継承晋山式が執り行われた。日蓮宗宗務総長中川法政院下(全門連理事長)、京都日蓮聖人門下本山、全国有縁の本山の院下、各聖御列席のもと、午前中は妙覚寺に於いて第八十五世及川日周院下より新貫首第八十六世宮崎日嚴院下に法灯が継承され、中川法政宗務総長より辞令交付が行われた。午後には妙顕寺に於いて第六十七世三田村日正院下より第六十八世及川日周院下に法灯が継承され、同じく中川法政宗務総長より辞令交付があり、両本山同日での法灯継承晋山式を円成した。

大阪日蓮聖人門下懇話会事業開催

夕刻より会場をリッツカールトン京都に移して両本山合同での盛大で和やかな祝賀式を開催し、両本山の弥栄なる隆昌と新貫首の更なる活躍と三田村日正貫首の法苦を労った。

第二十六回合同御会式

合同御会式が、昨年十一月十一日、大阪市中央区の日蓮宗妙光寺に於いて開催され、本門法華宗 中村日遊師の司会のもと、佐野貫順理事長を導師に奉行され、多数の会員教師と檀信徒が列席した。法要後、法華宗(本門流)本唱寺三浦日脩住職による「そのひと声が命をかえる」と題した法話と、旭堂南麟師匠による講談「日蓮聖人御一代記」が講じられた。

第二十九回研修会

当会は、毎年年末に研修会を開催しており、昨年は十二月五日に日蓮宗妙光寺に於いて、講師に東京大学特任研究員、立正大学講師 岡田文弘師をお招きし、「法華経」の成立と題して、躍動の展開と題した講演を開催。終了後、同寺で講師を含め懇親会を開催し、親しくご意見を賜った。

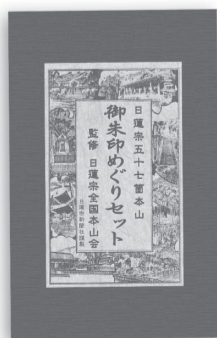
人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成三〇・一〇・一	功刀一晟 荒居養行	日蓮宗	幹事	就任	退任
平成三一・一一・一	桃井日英 伊丹日章	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成三一・一一・一	佐藤泰慎 橋本一妙	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成三一・一一・一	橋本一妙 永岡悠希	京都門下連合会	理事	就任	退任

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拝受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



※セット内容イメージ

監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)
57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚
御首題携行帳 3帳(予備2帳)
参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)
手引書 1冊
※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価 2,160円(税込・送料別)

全国日蓮宗本山会監修

日蓮宗 本山

めぐり

日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた緑に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。

頒価 3,240円
【税込・送料別】

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。

